

脳ドックに認知症リスク判定検査などを追加します

～早期発見による早期治療・発症予防～

脳ドックは、頭部 MRI や頸部血管超音波検査等により、脳血管の動脈硬化や脳動脈瘤など、脳血管疾患を早期に発見します。加えて、このたび、脳の萎縮状況や現在の認知機能を評価し、将来の認知症発症のリスクを判定する検査がオプションとして追加可能となります。

脳血管疾患や認知症は40歳代以降に発症するリスクが高く、要介護状態の原因となる最も多い疾患です。早期発見による早期治療・発症予防が極めて重要です。頭痛やめまい、物忘れなどの自覚症状がある方は早めの受診をお勧めします。

また、検査の結果、認知症の疑いがある場合は専門医の治療につなげるとともに、脳に萎縮が認められた場合や遺伝子検査などで将来的な認知症のリスクが高いと判断された方には、認知症予防に効果のある生活習慣の取組や地域活動などの紹介のほか、担当医によるフォロー、専門医による遺伝カウンセリングの実施などにより対象者を支援します。

1 受診推奨

概ね40歳以上の方

※ すでに脳血管疾患や認知症の治療を受けている方は対象外です。

2 脳ドック検診内容

項目	検査名	検査内容
脳ドック 基本項目 (現行)	身体計測	身長・体重・血圧・腹囲・視力・眼底・眼圧、聴力、 安静心電図 (肺機能検査は感染症拡大により休止中)
	尿検査	尿潜血・尿蛋白・尿糖など
	血液検査	血液一般検査(赤血球・白血球・血小板数など) 生化学検査(コレステロール・中性脂肪・肝機能など)
	脳検査	頭部MRI(脳梗塞、腫瘍等の有無・大きさ等) 頭部MRA(脳血管撮影)
	超音波検査	頸部血管超音波検査

【新規追加】

認知症等 オプション	API・AVI検査	上腕動脈の硬さ(API)、全身動脈の硬さ(AVI)を測定
	スクリーニング検査	MoCA-J(軽度認知障害の判定)、脳神経内科医の問診
	スクリーニングテスト	脳年齢を測定する、「のう KNOW」を導入(タブレットで実施)
	VSRAD 解析(MRI)	MRI画像を解析して、とくに海馬周辺の萎縮状況を測定
	海馬体積測定	MRI画像から海馬の体積を測定し、同年代の平均と比較
ApoE 遺伝子検査(1回のみ)		アルツハイマー型認知症の原因といわれている アミロイドβ蓄積に関する当該遺伝子の型を特定

<参 考>

脳の病気は、介護が必要になった原因の中で最も多くなっています。

■介護が必要となった原因（令和元年度 横浜市高齢者実態調査より）

・ 認知症	16.5%	} <u>脳の病気が原因：全体のおよそ 1/3</u>
・ 脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）	16.1%	
・ 骨折・転倒	14.1%	} <u>運動器障害・フレイル：全体の 1/4 以上</u>
・ 高齢による衰弱	7.5%	
・ 関節疾患（膝・股関節など）	5.0%	

→ 当院では、脳の病気とともに介護が必要になる原因の上位である、運動器障害、骨粗鬆症に関する検診も実施しています。

○フレイルロコモ骨粗鬆症検診

膝や腰に不安のある方、骨粗鬆症が心配な方、要介護状態になるのを防ぎたい方、老後を生き生きと過ごしたい方などで、身体状況をしっかりと把握したい方にお勧めします。

（推奨：50歳以上） 【料金：39,600円】

3 実施日

脳ドックは、原則毎月第2・4土曜日、日曜日（詳細は、下記「問合せ先」にご確認ください）

4 コース及び料金

コース名（脳ドック）		料 金
A	基本コース（現行）	56,100 円
B	（新）認知症オプション検査付コース	68,600 円
C	（新）認知症オプション検査＋ApoE 遺伝子検査付コース	90,300 円

5 担当医

横浜市立市民病院 脳神経内科 科長 山口 滋紀

6 予約方法（当面の間、電話予約のみ）

予約センターで承ります。（電話：316-6526）

※ 4月1日から予約を開始します（現時点では6月中旬に予約枠に空きがあります。）

7 問合せ先

本健診の詳細に関しては、市民病院予防医療センターにお問合せください。

（電話：045-316-4580（代表）、FAX：045-316-6529、Eメール：by-iji@city.yokohama.jp）

お問合せ先

市民病院管理部医事課長

駒形 俊文 Tel 045-534-3620